

1 単元 大人になれなかった弟たちに……

2 単元の見どころ

国語への 関心・意欲・態度	○ 時代の背景や作品の展開，登場人物の描写，情景描写に関心をもって読もうとしている。
読む能力	○ 場面展開や様々な描写に着目し，情景を想像しながら登場人物の心情や作者の思いをとらえることができる。 ○ 新聞記事から，必要な情報を集めるための方法を身に付け，目的に応じて必要な情報を読み取ることができる。 ○ 登場人物の思いに触れ，自分のものの見方や考え方を広げることができる。
言語についての 知識・理解・技能	○ 表現の特徴に気付き，その表現が効果的に使われていることを理解することができる。

3 新聞活用の視点(NIE との関連)

今年で戦後74年になった。実際に戦争を体験した方も少なくなり，それと同時に，戦争体験を直接聞く機会も非常に少なくなった。教える教師側には戦争体験がなく，また平和で飽食の時代に生きる生徒達に，戦争を背景とするこの「大人になれなかった弟たちに……」の作品の理解は，難しくなっていると考えた。

そこで，昭和10年代当時の新聞記事から，物語の叙述だけでは理解しにくい，当時の生活や食料事情等の状況，作者の思いを捉えさせ，より豊かな読解につなげていきたいと考えた。戦時中の非倫理・非理性を単に想像させるのではなく，当時の新聞記者が取材し編集した新聞記事からも，その状況をより現実的に生徒に感じさせたい。また，戦争体験者が当時を語る，戦後の新聞記事も合わせて準備し，触れさせたい。そして，困難な状況に生きた登場人物達の，さまざまな心情や思いに触れることで，自分のものの見方や考え方を広げる力を身に付けさせたいと考える。

本単元における新聞活用の場面を，主に以下の2つの場面に設定した。これは，本単元において子どもの思考を方向づけ，よりねらいに迫ることができると考えたからである。

- 戦争中の様子が分かる記事を探し，そこから読み取った当時の状況をまとめる場面（第3次）
 - ・ 現在と戦時中とを比較しやすくするために，生活や食料などに関する新聞記事に印をつけ，当時の生活状況を読み取らせる。
 - ・ 登場人物の言動の背景にあるものを探るといった次時の活動につなぎやすくするために，その新聞記事から分かったことや考えたことを学習プリントにまとめさせる。
- 登場人物の言動について再度考える場面（第4次）
 - ・ それぞれの登場人物が「戦争」という状況において，どうにもならない悲しみを抱いていることに気づきやすくするために，新聞記事から読み取った時代や状況をまとめさせた学習プリントを読み合わせる。

4 単元計画（5時間）

<p>主な学習活動・内容</p>	<p>○指導・支援上の留意点 ◎新聞活用の視点をふまえた手だて</p>	<p>【観点】評価規準（評価方法）</p>
<p>1 「大人になれなかった弟たちに……」を読んで、「母」「僕」「弟」「親せきの人」に視点をあて、感想を書く。</p> <p style="text-align: right;">①</p> <p>2 登場人物の行動や情景描写に注意して読み、人物の心情を捉える。特に、ミルクを盗み飲みした「僕」や、「親せきの人」の言動に着目して考える。</p> <p style="text-align: right;">①</p> <p>3 戦時中の様子が分かる新聞記事を読み取り、当時の状況をまとめる。</p> <p style="text-align: right;">①</p>	<p>○ 教科書P115の「目標」や「学習の窓」、P328の「文学的な文章を読むために」を活用し、登場人物の行動や、情景描写に注目して読ませるようにする。</p> <p>○ 場面展開や描写に着目して、登場人物の心情を捉え、作品を読み味わわせる。</p> <p>○ 登場人物の心情や作者の意を読み取るために、人物の言動、情景描写、表現の特徴などをふまえたうえで、考えさせるようにする。</p> <p>◎ 作品の表現だけでは分からない当時の様子や、「僕」の切迫した状況などを知るために、新聞を資料として活用させる。</p> <p>◎ 生活や食料などに関する新聞記事に印をつけ、当時の生活状況を読み取らせる。</p> <p>◎ その新聞記事から分かったことや考えたことをまとめさせる。</p>	<p>【関】「大人になれなかった弟たちに……」を読み、進んで感想を書こうとしている。（行動観察、感想シート分析）</p> <p>【関】登場人物の心情を、人物の言動、情景描写、表現の特徴などをふまえて理解しようとしている。（行動観察、発言分析）</p> <p>【読】新聞記事から、自分の必要な情報を読み取っている。（学習プリント分析）</p>
<p>4 弟のミルクを飲んでしまったことに対する「僕」の心情について考える。</p> <p style="text-align: right;">①（本時）</p>	<p>◎ 新聞記事から読み取った時代や状況をふまえ、それぞれの登場人物が、「戦争」という状況において、どうにもならない悲しみを抱いていることに気づかせる。</p>	<p>【読】新聞記事から読み取った当時の状況や、作者の意を押しえながら、本文中の登場人物の行動や様子を読み、その心情や生き方を捉えている。（発言分析・学習プリント分析）</p>
<p>5 題名や名前に込められた作者の意を読み取り、交流し合い、学習を振り返る。</p> <p style="text-align: right;">①</p>	<p>○ 時代や状況の中での、登場人物のものの見方や考え方に触れ、自分のものの見方や考え方を広げることができるようにする。</p>	<p>【関】自分自身の経験や思いとも重ねながら、文章を読んだり書いたりしている。（湯川振り返りシート分析）</p>

(1) 主 眼

新聞記事から当時の状況を読み取る活動を通して、弟のミルクを飲んだことに対する「僕」の心情を理解し、読み深めることができるようにする。

(2) 本時における新聞活用の視点

主眼を達成するために、前時でそれぞれが選択した新聞記事から読み取った当時の状況をまとめた学習プリントを活用する。班で交流し、まとめ、発表することで、当時の様子を全体で共有し、時代背景や生活状況、食料事情について理解させる。

(3) 準 備

学習プリント・ホワイトボード・ペン・付箋・湯川振り返りシート

(4) 過 程

学習活動・内容	○ 指導・支援上の留意点 【観点】評価規準(評価方法) ◎ 新聞活用の視点をふまえた手だて
<p>1 前時の授業を振り返る。</p> <p>2 めあてを設定し、本時の流れを確認する。 (1) めあてを設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>めあて 新聞記事から読み取った時代背景をもとに、弟のミルクを飲んだ「僕」の心情を捉えよう。</p> </div> <p>(2) 本時の流れ(①～④)を確認する。 ①班活動 ②「僕」の心情について ③班活動 ④振り返り</p> <p>3 学習プリント③を読み合い、当時の時代を整理する。</p>	<p>○ 前時の授業を想起させるために、アクティブリーダー(a1)に当時の状況をまとめたワークシートについての振り返りを言わせる。</p> <p>○ 本時の方向性を明らかにするために、a1に、めあてを読ませる。</p> <p>○ 本時の授業の流れを明確にするために、a1に流れを説明させる。</p> <p>○ 班活動の流れを周知するために、a1に班活動の流れを説明させる。</p> <p>◎ 戦争中の当時の様子をより深く理解させるために、戦争に関わる新聞記事をまとめた学習プリントを交換して読ませる。</p> <p>◎ 自分の考えを広げさせるために、班で新聞記事から読み取った当時の状況をもとに交流させた後、情報を集約し共有させる。</p>

予想される生徒の集約

- ・配給があっても、配給日に届かなかった日もあり、いつも食べ物には困っていた。
- ・「戦争は戦場を選ばず」、平穏な暮らしの場も、戦場となってしまう。
- ・食べ物を他の家や畑から盗むほど食べ物がなかった。
- ・砂の混じった砂糖も、カタツムリやカエルなど、とにかく食べられるものを探して、誰もが生きようとしていた。
- ・薬もなかった。
- ・空腹は、人を間違った道に連れていっていた。

4 全体で発表する	○ 班でまとめた情報を、より広げ深めさせるために、当時の状況が、いかに厳しく非倫理的であったか、物資が不足し慢性的な空腹状態であったか、全体で確認を行う。
5 当時の状況を確認し、弟のミルクを飲んだことに対する僕の心情について考える。	○ 次の活動内容を明確にするために、a1に流れを説明させる。 ○ 弟のミルクを飲んだ「僕」の心情を読み取るために、その根拠となる文に線を引かせ、付箋に書き込ませる。

予想される生徒の考え

- ・命を奪ってしまってごめんね。
- ・僕が飲まなければ、ヒロユキは大人になっていたかもしれない。
- ・ひもじくてひもじくて仕方なかった。死にそうだった。
- ・なんてひどいことしたんだ。自分は最低だ。
- ・ヒロユキのことは、かわいくてかわいくて仕方なかったんだよ。
- ・戦争中で、誰もが自分が生きること、必死な時代だったんだ。

6 班でまとめ、発表する。	○ 班活動の流れを周知するために、a1に流れを説明させる。 ○ 自分の考えを、班で出し合い、それぞれまとめさせ、発表する。特に根拠とした文も関連付けて説明させる。 ○ 時代背景と教科書の文章とをつなぎ、より作者の想いを読み取りやすくするために、教科書で読んだだけの時に考えた「僕」の盗み飲みについての自分の考えと、今の自分の考えを比較させる。 【読】 新聞記事から読み取った当時の状況や、作者の思いを押さえながら、本文中の登場人物の行動や様子を読み、その心情や生き方を多面的・多角的に捉えることができるか。(発言分析・ワークシート分析)
7 本時の学習を振り返る。	○ 本時の振り返りをする。 ○ 本時の学習を振り返り、学習のまとめをするために、a1に振り返りを発表させる。 ○ 新聞記事から得た情報から、当時の様子をより現実的に知ったことで、自分の考えがどう変わったのか考えさせる。

予想される生徒の振り返り

- ・新聞記事から当時の「僕」の状況を読み取ることで、「僕」の複雑な心情がより深く分かった。
- ・「僕」がミルクを飲んでしまった背景には、さまざまな気持ちがあることが分かった。
- ・新聞を読んで背景を知る前は、「僕」のミルクの盗み飲みのことが許せなかったけど、背景を知った後では、「僕」のことを責められないと思った。とにかく悲しかった。
- ・この時代に生きた人達の背景を知った後では、誰がひどいとか、誰のせいでこうなったとか、そんなことは考えられなかった。

ご指導よろしくお願いします。